

日塗工 整理No.(日塗工記入)	2015-15	労働災害状況調査表	
発生会社 事業所			
災害発生日時		2014年 6月 10日(火) 15時 00分 天候(晴) 温度( )℃湿度( )%	
災害区分		不 <del>休</del> 災害 休業災害(休業:△日)	
被災者	部門	研究部門	
	年齢	30 歳	性別: (男) 女
	傷病名	病名 (半月板損傷(左膝)、腱炎症(右肩))	
	傷病部位	左膝 および 右肩	
災害発生状況	①被災者は研究棟の廊下を歩行していた。		状況概略(写真orイラスト) 【廊下側写真】   【実験室側写真】 
	②実験室から廊下へ出ようとした別の作業者が左手に塗板の岡持ちを持ち、右手で扉を開けた。(実験室の扉は廊下側へ押し開く)		
	③被災者は廊下へ出てきた扉を避けようとした際に左膝および右肩をぶつけ、負傷した。		
災害の型 <sup>※1)</sup> :3 激突		作業の形態:定常、非定常、その他( )	
起因物: 扉		特記事項 特になし	
原因分類	1.人的要因(man):扉を開く側 = 確認不足 ・ 歩行者側 = 扉が開くことへのKY不足		
	2.物に関する要因(machine):扉のガラス窓の目隠しテープおよび掲示物により、見通しが悪い		
	3.環境要因(media):廊下側へ扉が押し開く		
	4.管理的要因(management):通行者に扉が開く際のリスクを啓発する表示無し		
対策	①当該職場で安全懇談会を実施し、以下の②～⑤の対策を行なった。		
	②ガラス窓の目隠し/掲示物を撤去し、視界を確保した。		
	③扉に「開扉時確認」と掲示した。		
	④扉を開く時には外に注意を払いながらゆっくりと開けるように周知した。		
	⑤扉の開く範囲を床に明示した。		
対策分類 <sup>※2)</sup> :1-2 災害・事故の想定と対応、1-6 教育、2-4 危険認識			

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)